

## 小山町公共下水道(須走処理区)の下水道整備状況と整備効果について

### 下水道整備状況について

小山町公共下水道(須走処理区 図 - 1)は、平成5年度に国の認可を受け、平成6年度には、各家庭から汚水を流すための管渠整備工事を着手しました。また、終末処理場については、平成8年度に建設工事を着手し、平成11年4月には終末処理場の供用開始をしています。公共下水道(須走処理区)の整備状況は、平成18年3月末において、管渠延長 L=22.5km 整備面積は 201.5ha(全体計画 214ha)を実施しました。

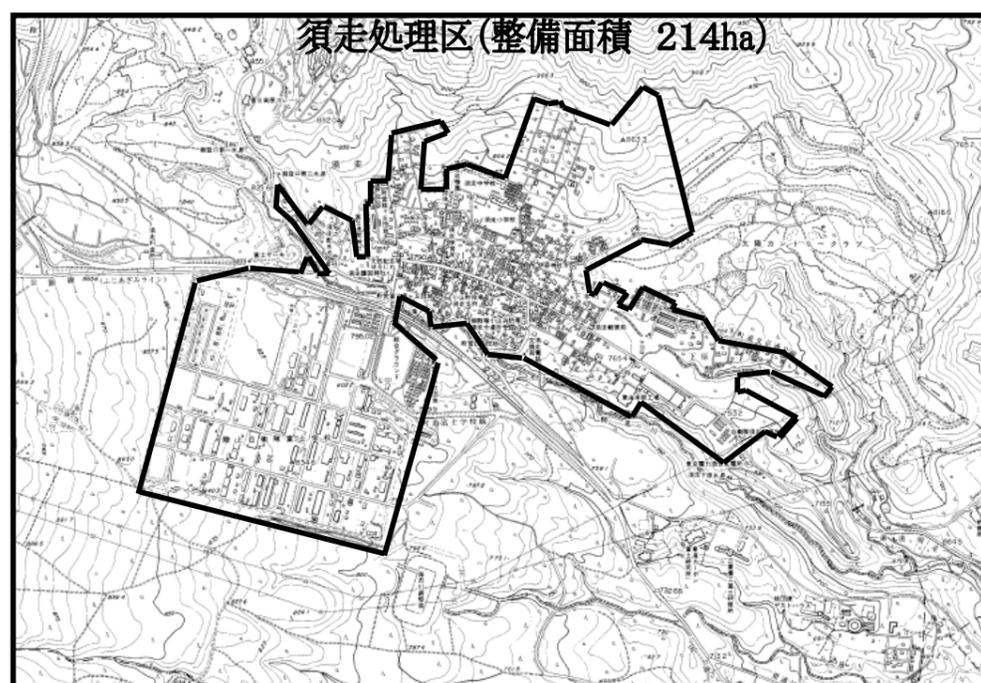


図 - 1

### 整備効果について

公共下水道は、地域住民の生活環境の改善と公共用水域(河川等)の水質保全を図る上で欠くことのできない施設であります。

ここで、公共下水道を整備した効果として、須走地区内の河川におけるBOD( )は平成12年度以降、普及・水洗化(図 - 2)が進むにつれ減少してきています。これは、公共下水道が整備されたことにより水質が改善されていることを表していると言えます。

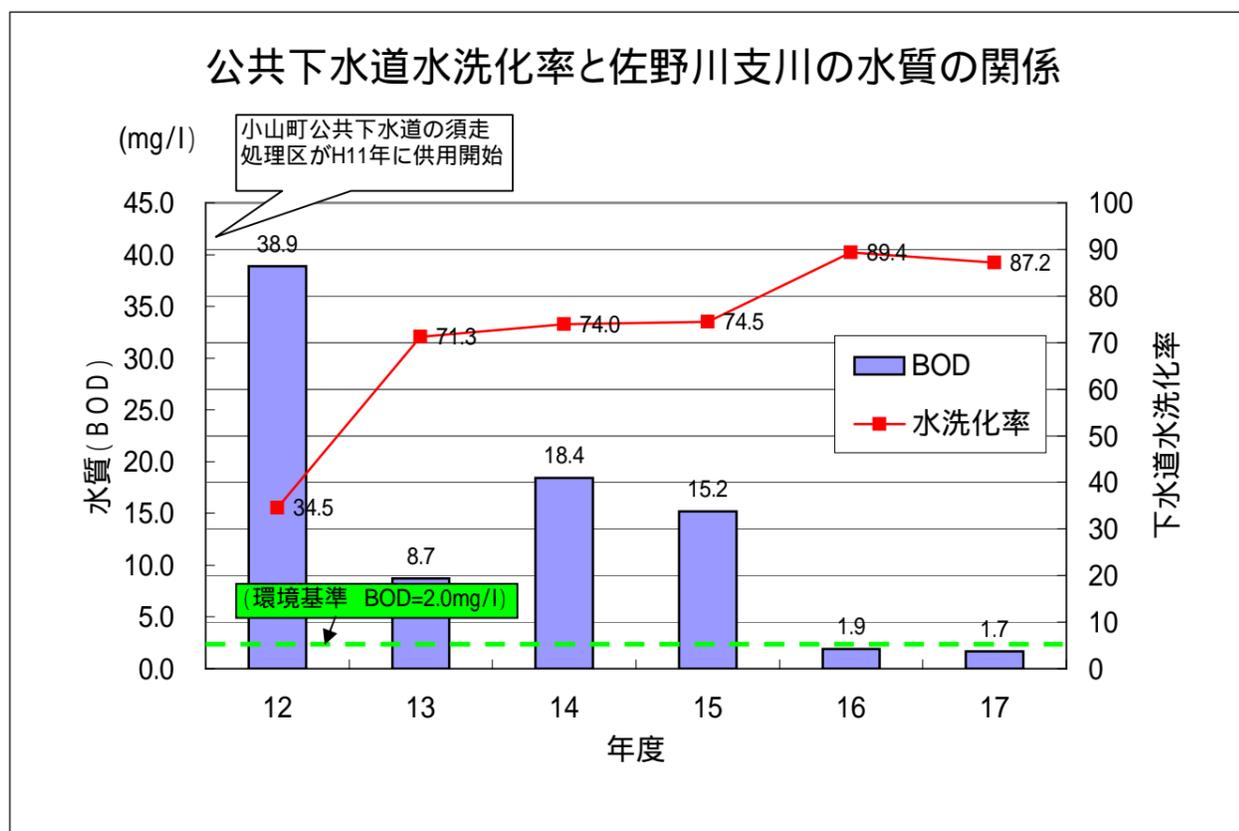


図 - 2

BOD(生物化学的酸素要求量)とは、水中の微生物が有機物を分解するときに消費する酸素の量で、数値が高いほど有機物(汚れ)が多いこととなります。通常20、5日間で消費された酸素量で表します。  
 佐野川支川：須走排水路(東原下)にてBOD測定